

山形県の農林水産業の概要

特徴・取組

山形県は、東北地方の日本海側に位置し、総面積は9,323km²、東京から概ね北に300km、山形新幹線で約3時間の距離にあり、蔵王、月山、烏海、吾妻、飯豊、朝日と日本百名山に数えられる秀麗な山々に囲まれ、県南部を源流とする最上（もがみ）川が、米沢盆地から山形盆地、新庄盆地へと北上して周辺の農地を潤し、やがて庄内平野の穀倉地帯を經由して日本海に注ぎ込んでいる。

産業構造は、就業者数（令和2年）を産業別にみると、第1次産業が8.7%、第2次産業が28.6%、第3次産業が62.8%となっている。前回調査（平成27年）に比べ、第1次産業で0.6%、第2次産業で0.4%低下し、第3次産業の割合が1.0%上昇している。

日本海側の庄内地方は多くの河川が流れる肥沃な大地で、日本有数の穀倉地帯となっている。

一方、村山地方を始めとする内陸部は、一日の温度変化や季節の温度変化が大きく、収穫量日本一を誇るおうとう（さくらんぼ）や西洋なし等の果樹栽培が盛んに行われている。また、すいかやそば等の栽培も盛んである。

令和7年産米の食味ランキングでは山形県産の「つや姫」が、平成22年のデビューから16年連続で「特A」評価を獲得し、全国のトップブランドとして定着。さらに、平成30年本格デビューした「雪若丸」も8年連続「特A」評価を獲得している。加えて、主力品種の「はえぬき」については、令和2年以来5年ぶり24回目の「特A」評価を獲得している。

おうとう（さくらんぼ）は、大玉新品種の「やまがた紅王（べにおう）」が令和5年に本格流通を開始し、山形県さくらんぼの新たな主力品種としてのブランド化を推進している。また、県産農畜産物の地理的表示（GI）登録により、米沢牛、東根さくらんぼ、山形セルリー、小笹（おざさ）うり及び山形ラ・フランスのブランド力強化の取組が行われている。

このほか、お正月に満開の桜が楽しめる促成栽培の「啓翁桜」（けいおうざくら）は、山形県が日本一の出荷量を誇っており、冬に咲く桜として海外でも年々知名度が上昇し、平成26年から海外輸出を行っている。

主な農林水産物

おうとう（さくらんぼ）

主要品種である「佐藤錦」をはじめ、大玉品種の「やまがた紅王」など多くの栽培品種がある。（収穫量全国1位）



西洋なし

地理的表示（GI）登録された「山形ラ・フランス」は県内の栽培面積の8割を占める。（収穫量全国1位）



すいか

尾花沢市、村山市、大石田町などが主な産地で、「尾花沢すいか」は全国的なブランドとして知られている。（収穫量全国3位）



ぶどう

生産量日本一の「デラウェア」や「シャインマスカット」など多彩な品種が揃っている。（収穫量全国4位）



米

ロングセラーの「はえぬき」や誕生以来特A評価の「つや姫」「雪若丸」が作付けされている。（収穫量全国5位）



ばら（切り花類）

山形市、寒河江市を中心に生産が盛んで、日本有数の産地を形成。ロックウール栽培による周年栽培が主流。（出荷量全国3位）



えだまめ

全国的なブランドとなった「だだちゃ豆」や晩生の「秘伝豆」等の品種がある。（収穫量全国6位）



肉用牛

地理的表示（GI）登録された「米沢牛」を始め、高品質な「総称山形牛」の生産拡大を図っている。



啓翁桜

冬に花を咲かせる「啓翁桜」は、雪が降り積もる「雪国」山形県が日本一の出荷量を誇っている。



山形県内の各地域における農林水産物



庄内（しょうない）地域

【農畜産物】 水稲、えだまめ、メロン、ねぎ、日本なし、アスパラガス、かき、アルストロメリア、ストック、トルコギキョウ、豚

【林産物】 なめこ、たけのこ、ねまがりたけ

【水産物】 スルメイカ、ハタハタ、ホッケ、マダラ、サケ類、サクラマス、マダイ、ヒラメ、ずわいがに

最上（もがみ）地域

【農畜産物】 水稲、そば、にら、アスパラガス、ねぎ、トマト、マッシュルーム、りんどう、ばら、トルコギキョウ、肉用牛

【林産物】 わらび、なめこ、えのきたけ、ぶなしめじ、しいたけ、たらの芽、すぎ

【水産物】 コイ、アユ、マス類

置賜（おきたま）地域

【農畜産物】 水稲、えだまめ、アスパラガス、きゅうり、おうとう（さくらんぼ）、西洋なし、ぶどう、りんご、ダリア、アルストロメリア、啓翁桜、乳用牛、肉用牛、豚

【林産物】 わらび、炭

【水産物】 コイ、フナ、マス類

村山地域

【農畜産物】 水稲、そば、えだまめ、すいか、きゅうり、セルリー、うるい、おうとう（さくらんぼ）、西洋なし、ぶどう、りんご、すもも、もも、ばら、ストック、啓翁桜、肉用牛、豚

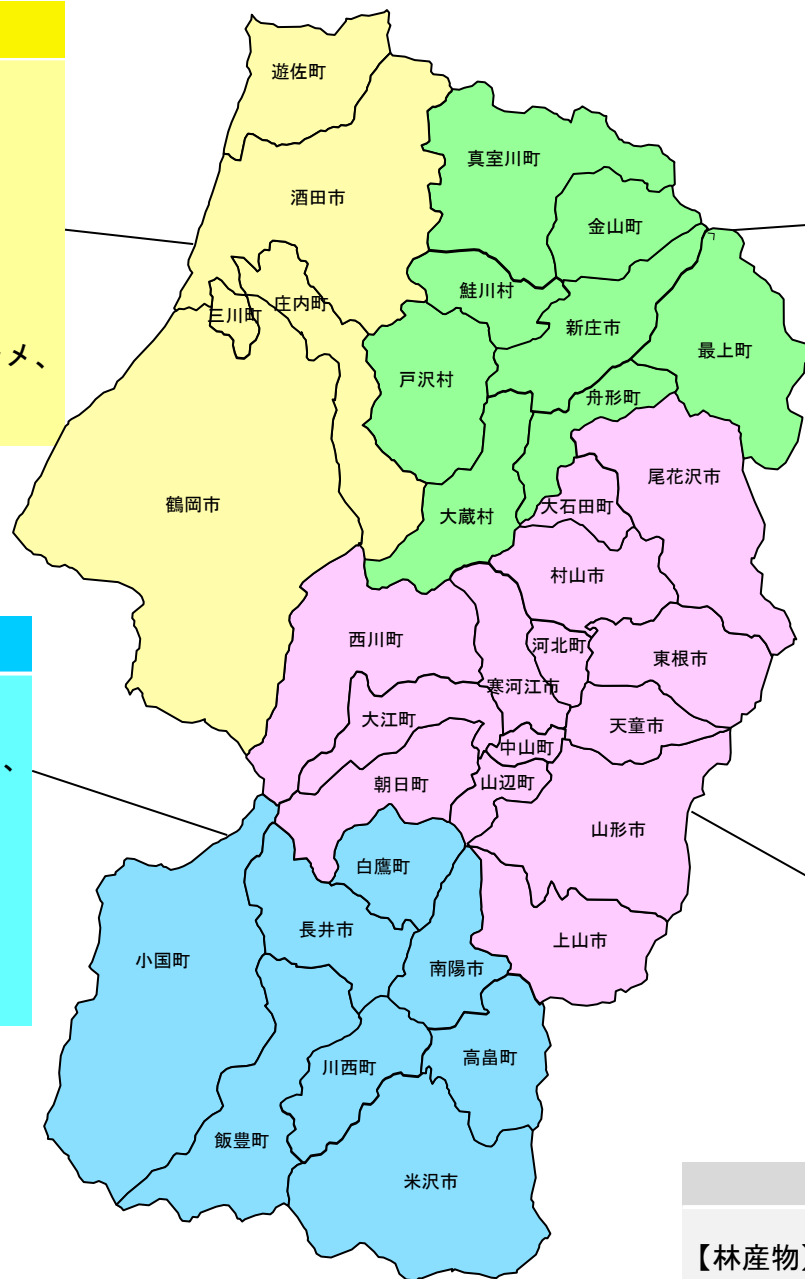
【林産物】 なめこ、ねまがりたけ

【水産物】 マス類、コイ

山形県内

【林産物】 すぎ、からまつ、広葉樹

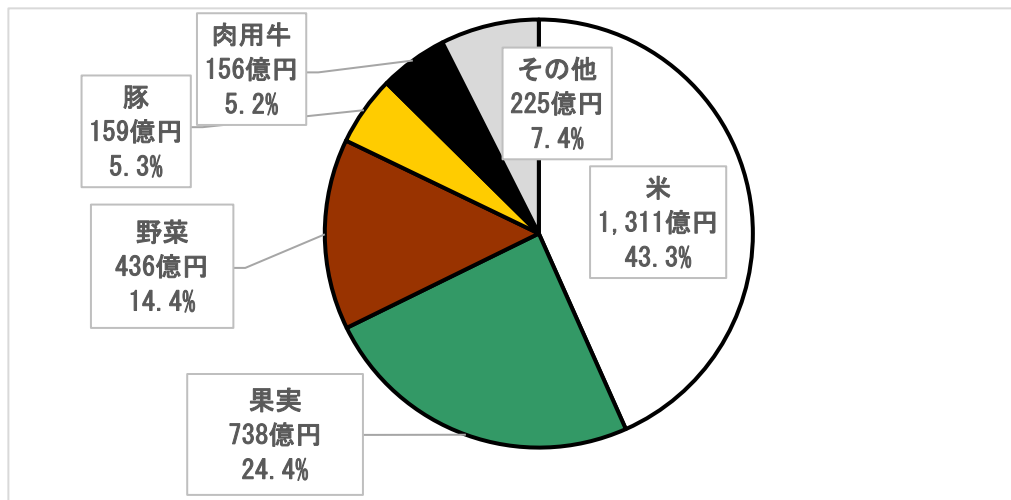
【水産物】 ニジサクラ



山形県の農業（1）

- ・農業産出額は3,025億円で全国13位。うち米が1,311億円（43.3%）、野菜が436億円（14.4%）、畜産が440億円（14.5%）。
- ・農畜産物の生産状況は、おうとう、西洋なしが全国1位、すいか、ばら、りんどうが3位、ぶどうが4位、水稲、そばが5位。

農業産出額の概略



農畜産物の生産状況

区分	年次	山形県	全国	全国順位
水稲	収穫量	R7 381,300 t	7,790,000 t	5
そば	収穫量	R6 2,360 t	40,400 t	5 *
えだまめ	収穫量	R6 3,700 t	58,200 t	6
すいか	収穫量	R6 29,600 t	299,000 t	3
おうとう	収穫量	R6 8,590 t	11,500 t	1
西洋なし	収穫量	R6 17,800 t	25,400 t	1
ぶどう	収穫量	R6 14,000 t	164,600 t	4
ばら	出荷量	R6 12,600 千本	171,300 千本	3
りんどう	出荷量	R6 7,440 千本	68,300 千本	3
肉用牛	飼養頭数	R7 43,300 頭	2,595,000 頭	17

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」、「畜産統計」

農業産出額のデータ

区分	山形県の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	3,025 億円 (100.0)	107,801 億円 (100.0)	13
米	1,311 億円 (43.3)	25,524 億円 (23.7)	6
麦類	0 億円	582 億円	25 *
雑穀	6 億円	87 億円	5
豆類	8 億円	621 億円	11
いも類	7 億円	2,565 億円	33
野菜	436 億円 (14.4)	25,510 億円 (23.7)	21
果実	738 億円 (24.4)	10,112 億円 (9.4)	5
花き	70 億円	3,423 億円	16
工芸農作物	2 億円	1,577 億円	30
その他作物	6 億円	583 億円	24 *
畜産	440 億円 (14.5)	36,654 億円 (34.0)	23
肉用牛	156 億円	7,861 億円	14
乳用牛	85 億円	10,035 億円	20
生乳	80 億円	8,937 億円	20
豚	159 億円	7,567 億円	13
鶏	37 億円	10,170 億円	38
鶏卵	18 億円	5,764 億円	39
ブロイラー	18 億円	4,259 億円	28 *
その他畜産物	3 億円	1,021 億円	18
加工農産物	2 億円	565 億円	23

出典：「令和6年農業総産出額及び生産農業所得(全国)」、「令和6年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」
注：()は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和8年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「O」：単位に満たないもの(例:0.4t→0t)

「-」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

山形県の農業（2）

- ・耕地面積は11万3,200haで全国11位。うち田が8万9,800ha、畑が2万3,300ha。
- ・農業経営体数は2万2,775経営体で全国14位。うち法人経営体数が793経営体で15位。
- ・国、市町村認定及び都道府県認定経営体数は7,820経営体で全国7位。うち法人数が714法人で16位。
- ・農業生産関連事業は、農家レストランの年間販売（売上）金額が10億円で全国14位、事業体数は50事業体で4位。

耕地面積

区分	山形県	全国	全国順位
耕地面積	113,200 ha	4,272,000 ha	11
田	89,800 ha	2,319,000 ha	9
畑	23,300 ha	1,952,000 ha	18
普通畑	11,800 ha	1,118,000 ha	21
樹園地	9,350 ha	248,600 ha	9
牧草地	2,150 ha	585,900 ha	13
参考) 総土地面積	9,323.15 km ²	377,979.74 km ²	9

出典：「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、「令和8年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区分	山形県	全国	全国順位
荒廃農地面積	1,916 ha	256,667 ha	38

出典：「令和6年度の荒廃農地面積(令和7年3月31日現在)」

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区分	山形県	全国	全国順位
農業経営体数	22,775 経営体	836,054 経営体	14
法人経営体数	793 経営体	33,819 経営体	15
総農家数	32,755 戸	1,394,135 戸	20
販売農家数	21,442 戸	792,808 戸	14
参考) 世帯総数	398,015 世帯	55,830,154 世帯	38
集落営農数	445 集落営農	13,952 集落営農	13

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和7年集落営農実態調査結果(令和7年2月1日現在)」

担い手への農地の集積状況

区分	山形県	全国	全国順位
担い手への集積面積	81,351 ha	2,627,068 ha	6
集積率	71.9 %	61.5 %	2

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和6年度版)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区分	山形県	全国	全国順位
基幹的農業従事者数	30,322 人	1,036,228 人	11
男	19,942 人	659,332 人	12
女	10,380 人	376,896 人	13
65歳以上	21,513 人	721,311 人	12
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	70.9 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	7,820 経営体	212,136 経営体	7
法人数	714 法人	29,684 法人	16
参考) 人口総数	1,068,027 人	126,146,099 人	36

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和7年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区分	山形県	全国	全国順位	
農産加工	総額	9,839 百万円	1,006,107 百万円	31
	事業体数	660 事業体	26,910 事業体	15
農産物直売所	総額	25,698 百万円	1,134,381 百万円	17
	事業体数	610 事業体	20,960 事業体	11
観光農園	総額	581 百万円	39,113 百万円	22 *
	農業経営体数	130 経営体	4,350 経営体	13
農家民宿	総額	22 百万円	4,933 百万円	32 *
	農業経営体数	10 経営体	770 経営体	20
農家レストラン	総額	986 百万円	39,900 百万円	14 *
	事業体数	50 事業体	1,390 事業体	4

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

山 形 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は74.7億円で全国24位。うち木材生産が36.6億円、栽培きのご類生産が36.6億円。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が全国21位、わらびが全国1位、なめこ、ねまがりたけが3位、木質粒状燃料が5位。

林業産出額

区 分	山 形 県	全 国	全国順位
林業産出額	74.7 億円	4,769.8 億円	24
木材生産	36.6 億円	2,369.4 億円	22
栽培きのご類生産	36.6 億円	2,322.7 億円	20

出典：「令和6年林業産出額」

林産物の生産状況

区 分	山 形 県	全 国	全国順位
素材生産量	293 千m ³	19,763 千m ³	21
針葉樹	291 千m ³	18,398 千m ³	19
すぎ	282 千m ³	11,716 千m ³	13
からまつ	7 千m ³	1,733 千m ³	11
広葉樹	2 千m ³	1,365 千m ³	37
なめこ	生産量 4,081 t	23,874 t	3 *
ねまがりたけ	生産量 14 t	63 t	3
わらび	生産量 283 t	596 t	1
木質粒状燃料	生産量 5,796 t	151,868 t	5

出典：「令和6年木材統計」、「令和6年特用林産基礎資料」

林野面積

区 分	山 形 県	全 国	全国順位
林野面積	646,030 ha	24,744,214 ha	8
国有林	327,525 ha	7,117,059 ha	6
民有林	318,505 ha	17,627,155 ha	24
人工林面積	184,688 ha	10,059,386 ha	24

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

製材工場数

区 分	山 形 県	全 国	全国順位
製材工場数	87 工場	3,547 工場	17
製材用素材の入荷があった工場数	87 工場	3,492 工場	15
国産材のみ	87 工場	3,013 工場	12
国産材と輸入材	- 工場	386 工場	-

出典：「令和6年木材統計」

林業経営体数

区 分	山 形 県	全 国	全国順位
林業経営体数	309 経営体	23,300 経営体	28
法人経営体数	65 経営体	3,813 経営体	23

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

山形県の水産業

- ・漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は17億円で全国39位。
- ・水産物の生産状況は、海面漁業のさけ類が全国4位、まだら、べにずわいがにが7位、内水面漁業のさけ類が2位、内水面養殖業のこいが6位。
- ・漁業生産関連事業は、漁家民宿の年間販売（売上）金額が7,800万円で全国16位、漁業経営体数は10経営体で13位。

漁業産出額

区分	山形県	全国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	17億円	14,785億円	39
海面漁業	x億円	8,894億円	-*
海面養殖業	x億円	5,891億円	-*

出典：「令和6年漁業産出額」

漁業経営体数

区分	山形県	全国	全国順位
海面漁業経営体数	209経営体	65,662経営体	39
内水面漁業経営体数	53経営体	4,076経営体	22

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁業就業者数

区分	山形県	全国	全国順位
海面漁業就業者数	292人	121,389人	39
男	286人	109,757人	39
女	6人	11,632人	38

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁船隻数

区分	山形県	全国	全国順位
漁船隻数	268隻	109,284隻	39
動力漁船	140隻	58,907隻	39

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区分	山形県	全国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	2,503 t	3,589,121 t	37*
海面漁業漁獲量	2,503 t	2,786,195 t	38
さけ類	45 t	46,706 t	4
まだら	255 t	54,539 t	7*
べにずわいがに	455 t	12,345 t	7*
海面養殖業収穫量	x t	802,927 t	-*
内水面漁業・養殖業生産量	226 t	47,046 t	26*
内水面漁業漁獲量	139 t	17,915 t	13
さけ類	112 t	4,910 t	2
内水面養殖業収穫量	87 t	29,131 t	28
こい	38 t	1,617 t	6

出典：「令和6年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区分	山形県	全国	全国順位	
水産加工	総額	124百万円	193,147百万円	37
	事業体数	10事業体	1,160事業体	24
水産物直売所	総額	x百万円	34,259百万円	-*
	事業体数	0事業体	780事業体	33
漁家民宿	総額	78百万円	5,440百万円	16*
	漁業経営体数	10経営体	540経営体	13
漁家レストラン	総額	x百万円	13,511百万円	-*
	事業体数	0事業体	380事業体	30

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

山形県の農林水産業の話題等

農業の生産性の向上を目指し、全国初のスマート計画を認定 認定数14は全国トップ

令和7年1月、県内の2法人によるスマート農業技術活用促進法に基づく生産方式革新実施計画が、全国で初めて認定（写真1）された。令和8年1月には、さくらんぼ栽培において全国で初めて、また、果樹栽培では山形県で初めての生産方式革新実施計画が認定（写真2）されるなど、山形県内の同計画の認定数14（令和8年2月25日現在）は、全国トップとなっている。認定された計画は、作業の効率化と省力化により、大幅な生産コストの削減を実現するとともに革新的な生産技術を積極的に取り入れることで、地域を担う持続可能な農業モデルとして期待されている。

また、山形県では、スマート農業として、人工衛星データを利用した「やまがた米づくりナビ」を農業者に公開し、生育診断や刈取適期の把握に活用しているほか、令和8年度予算において、衛星データ等に基づく水稻の栽培管理の自動化を目指すスマート農業技術の開発や、さくらんぼのスマート農業機器の開発に向けた取り組みを推進。山形県では、基幹作物である水稻と果樹におけるスマート農業の導入に向けて、農業者を積極的に後押ししている。（写真3）



（写真1）東北農政局龍澤生産部長（右）から認定証を受け取る株式会社おしの農場の押野和幸氏（中央）と株式会社山正の瀬野雄平氏（左）（全国において第1弾認定）



（写真2）地中埋設式の境界ワイヤーを設置し、草刈りロボットが効率的に稼働できる環境を整え、労働生産性を向上。（写真：やまがたさくらんぼファームの皆さんと草刈りロボット）



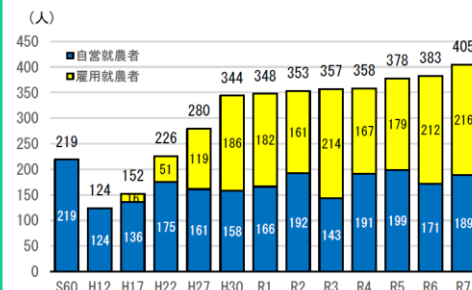
（写真3）農業機械の開発機種イメージ（資料提供：山形県農林水産部）

令和7年度新規就農者数405人（前年より22人増） 昭和60年以降で初の400人超 10年連続で東北一

令和7年度調査（令和6年6月から令和7年5月末までに就農）の新規就農者は、調査を開始した昭和60年以降で最多の405人（前年より22人増）となり、「第5次農林水産業元気創造戦略」における令和7年度目標数400人を超え、東北6県では10年連続で第1位となっている。就農形態別の内訳については、自営就農者は189人（前年より18人増）、特に雇用就農者は216人（前年比4人増）、新規参加者は241人（前年より25人増）といずれも過去最多となった。

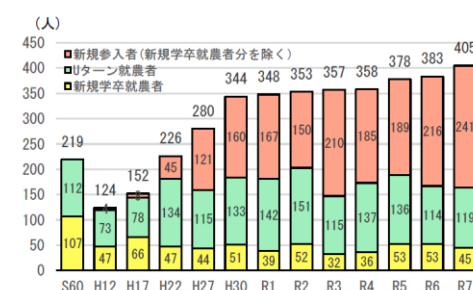
山形県は、意欲ある新規就農者の確保や育成のため、動機づけから就農、定着、経営発展までの各段階に応じた支援を行うとともに、地域の実情に応じた受入体制づくりや異業種からの農業参入など、関係機関が一体となって積極的に推進している。

【図1】新規就農者の動向調査結果



注）各年5月末までの1年間の新規就農者で65歳未満の者
○雇用就農：農家法人等に雇用されて就農した者
○自営就農：自ら農業を開始した者及び家族の農業経営に参画し就農した者

【図2】属性別新規就農者の動向



注）新規参加者：新規学卒就農者分を除く
○新規参加者：非農家出身者で、新たに農地等を取得し就農した者
○Uターン：農家出身者で、他産業に従事した後就農した者
○新規学卒：学校卒業後、就職又は研修を経て就農した者